

学習院大学で契約している様々なデータベースを活用しましょう。  
データベースを使うと信頼性の高い情報が簡単に入手できます。

## 「データベース NAVI」へのアクセス方法

1. GLIM/OPAC にアクセスし、「学習院データベース NAVI」をクリック

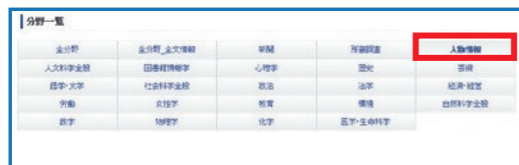


**💡 マメ知識**

データベース名で探したい時は表示されているページの画面検索から探します。「CTRL」+「F」キーを同時に押すとブラウザの左上に検索 Box が表示されるので、データベース名を入れて検索します。

「CTRL」+「F」で表示されます ※「次へ(前へ)」で移動します

3. 調べたい分野のボタンをクリックすると、該当分野のデータベース一覧に移動します



**COLUMN**

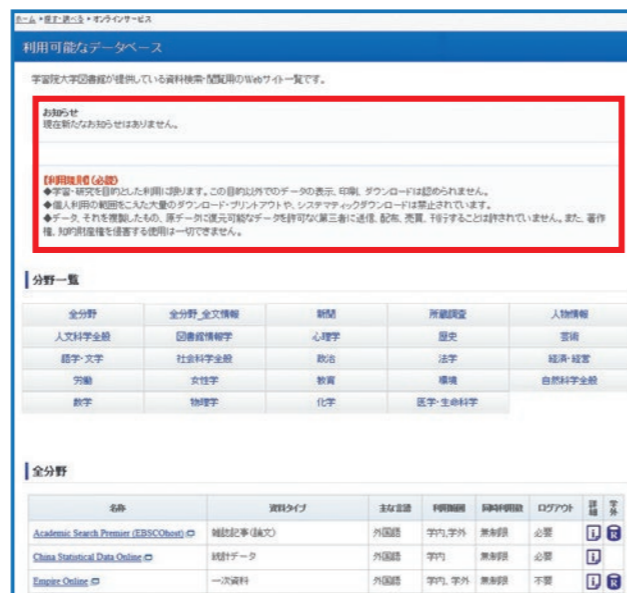
### なぜデータベース NAVI を使うの？

データベース NAVI に登録されているデータベースは、主に有料のデータベースです。(学習院大学で契約をしているので、学生の皆さんは無料で利用できます)

これらの有料データベースは、Google では得られない、専門的かつ正確な情報が検索できるので、非常に有用です。

誰でも入手できる Google 上にあふれる情報よりも、正確で専門性の高い情報を入手するため、データベース NAVI を使うようにしましょう。

2. データベース一覧画面が表示されます。お知らせや注意事項は、その都度必ず確認してください。



4. 使うデータベースが決まったら、データベース名称のリンクをクリックします。内容を確認する時は、詳細項目の「i」ボタンをクリックします。



## 5. データベースの詳細画面



- ①名称：データベースの名前です。学内PCから利用の際は、詳細項目のデータベース名をクリックすると、直接該当データベースのトップページにアクセスできます。
- ②概要：これを読んで、自分が知りたい内容が入手できるデータベースかどうかの判断材料としてください
- ③資料タイプ：検索対象の資料タイプを表します
- ④主な言語
- ⑤利用範囲：データベースが利用できる場所を表しています  
(例1) 学内→学習院大学(目白キャンパス)内であればどこからでも利用できます  
(例2) 無料公開→インターネット上で公開されているサイトです。学内外問わず、どこからでも利用できます。  
(例3) 学外→大学所属者のうち、利用の認められた方のみ学外から利用できます (P.26-27 参照)
- ⑥同時アクセス(利用)数：データベースを同時に使えるユーザー数です  
(例1) 「4」→同時に利用できるユーザーは4人です  
(例2) 「無制限」→同時に何人でも利用できます
- ⑦ログアウト要否：データベースの利用を終了するときの手続きについて表しています  
(例1) 「必要」→データベース画面内の「ログアウト」等のボタンを押して利用を終了してください  
(例2) 「不要」→ウィンドウ右上の「X」ボタンを押して利用を終了してください
- ⑧備考：利用上の注意点やマニュアルへのリンク等を表示しています
- ⑨接続：学外からデータベースを利用するときをクリックします (P.26-27 参照)